

ランピースキン病（届出伝染病） 国内初発生！

【発生概要】 現在（令和6年11月11日時点）4農場で発生を確認

- ・11月 6日 福岡県の2農場（乳用）で発生。
- ・11月 9日 福岡県の発生農場から牛の移動のあった熊本県の1農場（乳用）で発生。
- ・11月10日 福岡県の1農場（乳用・肉用）で発生。



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所

【症 状】

- ・牛、水牛が感染するウイルス性疾患で、全身の皮膚の結節（イボ）形成や、発熱、鼻汁、泌乳量の低下などの症状を示します。

※本病の症状である皮膚の結節等については、
Webで「ランピースキン病侵入防止リーフレット」を
ご確認ください



(<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/attach/pdf/lsd-49.pdf>)

【感染方法】

- ・主に吸血昆虫（蚊、サシバエ、ヌカカ、マダニ等）による伝播。
- ・汚染された飼料、水、器具、を介して感染。
- ・感染した牛の移動により感染が拡大。

【予防・侵入防止対策】

- ・吸血昆虫の駆除として、殺虫剤の散布や、粘着シートを活用。
- ・ほかの農場で使用した器具などは、持ち込まない。
やむを得ず、飼養器具等を持ち込む場合は洗浄、消毒（エタノール、次亜塩素酸ナトリウム、逆性石鹼など）。
- ・飼養器具等を農場外に搬出する際は、農場出入口での消毒。
- ・毎日の健康観察。農場外へ移動する場合も、健康状態の確認。

【本病を疑う異状を認めた場合】

- ・疑わしい牛の隔離、生きた牛等の移動の自粛。
- ・速やかに、獣医師、家畜保健衛生所までご連絡ください。

岐阜県中央家畜保健衛生所

岐阜市柳戸1-1 TEL:(058)201-0530 FAX:(058)201-0531

E-mail: c24502@pref.gifu.lg.jp

休日・平日の時間外の緊急連絡はTEL:090-7024-5269まで

